

科目名称	専門職種連携	学年学期	単位数	時間数
		3 学年前期	1	15
担当教員	大北米香 福田栄江	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

### 【1】 授業概要

地域包括ケアシステム・地域共生社会の実現のために、多様な場で暮らす様々なライフステージ・健康レベルにある対象の健康や生活を守る保健・医療・福祉の提供に向けて、お互いの職種の特性を生かしながら、対象の目標達成、課題解決に向けてより良い方法をともに検討し、専門職種連携・協働の実現を可能にする能力の習得をめざす。

### 【2】 学習目標

1. 専門職種の役割と責務について、専門職種間で共有する。
2. 専門職種間でのコミュニケーションのあり方について理解できる。
3. 看護の役割と責務を理解する。

### 【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

### 【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	専門職種の理解	グループワーク
2	専門職種との連携・協働	グループワーク
3	事例展開	グループワーク
4	専門職種連携の実際	多職種グループワーク
5	専門職種連携の実際	
6	専門職種連携のためのコミュニケーション	グループワーク
7	看護の役割と責務	グループワーク
8	筆記試験・まとめ	レポート

### 【5】 評価方法

グループワーク（多職種グループワーク、レポート含む）80%、最終レポート 20%

### 【6】 教科書

小泉俊三: 系統看護学講座 別巻 総合医療論 第4版 医学書院 2026(電子版)  
 福田素生: 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[3] 社会保障・社会福祉 第27版 医学書院 2026(電子版)  
 石川ひろの: 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 第4版 医学書院 2026(電子版)  
 原 三紀子: 系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 第7版 医学書院 2026(電子版)  
 井手隆文: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 第16版 医学書院 2026(電子版)

### 【7】 参考書

### 【8】 受講生へのメッセージ

地域包括ケアシステムでは、様々な専門職が連携して対象の健康を支援している。この授業をとおして、保健・医療・福祉チームの一員として対象の健康を支援するために各専門職との連携・協働に必要なコミュニケーションや態度を身につけましょう。そして、各専門職と連携する重要性和楽しさを学んでいただきたい。